



後藤 俊夫(ごとうとしお) 監督
 1938年伊那市(旧上伊那郡東春近村)出身。伊那北高校、立教大学を経て、新世紀映画株式会社入社。山本薩夫監督に師事し『戦争と人間』『華麗なる一族』などで助監督を務める。1978年に『こむぎいろの天使-雀(すずめ)と少年』で監督デビュー。その後、活動拠点をふるさとである信州伊那谷(飯島町)に置き、動物と人間のふれあいを描いた作品や、時に美しく時に厳しい自然をテーマにした作品を多く手がけた。1983年、芸術選奨新人賞受賞。
 主な作品『マタギ』、『イタズ 熊』『ベトナムのダーちゃん』、『こむぎいろの天使-すかれ追い』、『Beauty-うつくしいもの』など。

後藤俊夫監督追悼上映会

伊那市出身の映画監督、後藤俊夫さんが、昨年11月22日、87歳で逝去されました。後藤監督は、1995年から2022年まで、故郷の伊那市に近い飯島町に居住され、伊那谷独特の文化、蜂追いを描いた『こむぎいろの天使-すかれ追い』や村歌舞伎を描いた『Beauty-うつくしいもの』など、この地のひとや自然や風土を描いた映画を製作してきました。また、「伊那市ふるさと大使」や「まほらいな市民大学」の講師として、当市のさまざまな文化事業にもご尽力いただきました。

昨年来、全国的に熊の出没と人的被害が大きな話題となる中、「人と熊とのかわり」を描いた後藤監督の傑作『マタギ』を上映したいと思い、連絡を取っていましたが、その最中に氏の訃報を聞きました。その後、映画『マタギ』の制作プロダクションである「青銅プロダクション」と連絡が取れ、正式に映画『マタギ』の上映許可をいただきました。今回創造館での『マタギ』上映にあたっては、長く中央と地方を結ぶ文化を作り上げてきた後藤俊夫監督の、想いと業績を偲ぶ上映会としたいと思います。

3月7日(土)
 午後1時30分～
 伊那市創造館3階講堂
 当日先着100人
 入場無料
 申込不要



今回の上映は、かつて後藤監督自身が所有され、東京へ越される際に、伊那市創造館へ寄贈された16mmフィルムを用いて映写します。

映画「マタギ」(1982年 青銅プロダクション 103分)
 監督:後藤俊夫/脚本:大和屋竺/主演:西村晃/製作:小島義史

老マタギ・関口平蔵はかつて巨大熊と戦い、顔に大きな傷を負っている。この因縁の巨熊を仕留めることに執念を燃やす平蔵だが、年齢とともに視力は衰え射撃の腕も落ちてきた。一方、孫の太郎は祖父の平蔵を誇りに思い、弱虫の愛犬チビを立派なマタギ犬に育て上げようとしていた。秋も深まったある日、あちこちで熊被害が始め、伝説のあの巨熊の仕業と感じた平蔵はチビを連れ、雪深い山に向かう…。マタギとしての誇りや、命・自然への敬意、そして孫・犬との深い情愛の物語。

1982年 ベルリン国際映画祭で、後藤俊夫監督がユニセフ監督賞を受賞。
 1983年 第37回毎日映画コンクールで、西村晃が男優演技賞を受賞。



- 電車利用…… JR飯田線伊那市駅より徒歩 4分
 - バス利用…… 伊那バスターミナルより徒歩 3分
 - 自動車利用…… 中央道伊那インターより 15分
 …… 中央道小黒川スマートインターより 10分
- ※お車でお越しの方へ
 いなっせ駐車場など、市営駐車場をご利用の上、駐車券を創造館1階事務室までお持ちください。無料化いたします。
- ※ホームページは…
 「伊那市公式」を検索 → www.inacity.jp
 → 伊那市の博物館・美術館・図書館 → 伊那市創造館